

縣治一斑

卷之二

目次

區別分合

區務職稱

區村吏員

村落廢合

民費沿革

共五冊

第七門

備 場 所	品 目	調 製 年 月 日	製 成 年 月 日	費 用 第 三 五 號
	文 書	昭 和	年 月 日	
	課			

317
イ2
1-2



卷之七

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

Blank page with significant water damage and staining, particularly along the left edge and bottom.

書

縣治一斑卷之二

明治十一年
八月 照 草

總閱

北設樂郡長古橋源六郎

校正

同 書記山崎謙吾

纂述

同 雇 石川部平

區別今合第八

本朝境界ハ道以テ國ヲ統ヘ國以テ郡ヲ統ヘ郡以テ村ヲ統フ村ノ名称中古李唐ノ制ニ倣ヒ今ニ至ルト虽要スルニ山脈水筋阻隔斷續亦天然ノ形勢ニ遠ル者ナリ而ノ郡ニ廣狹アリ村ニ大小アリ戸口田園其均ヲ得ス郡村ノ數以テ計

建和縣七

33730 和 38598

A31 12 1-2

較シ吏負ヲ置ク時ハ勞逸務ヲ異ニシ其平ヲ得
 ス別ニ是カ法ヲ立サルヲ得サルナリ爰ニ維新
 ニ當ルヤ明治四年八月各縣管轄各自區別ノ方
 ヲ画シ戶籍編製ヲ創ム九十九ヶ村内重原縣ニ
 テハ六十ヶ村ヲ六區ニ別ツ其目第二十二區ヨ
 リ第二十七區ニ至ル伊那縣ニテハ九十九ヶ村
 内三十五ヶ村ヲ二區ニ別ツ其等第七十三區ヨ
 リ七十四區ニ至ル村割左ニ舉ク
 重原縣管轄

第二十二區

計六ヶ村

- 東田内
- 田峯分郷
- 栗島
- 折立
- 筒井
- 桑平新田

第二十三區

計十六ヶ村

- 西路
- 東路
- 中島
- 田口町
- 萩平
- 荒尾
- 和市
- 塩津
- 小松野
- 柳平
- 奴田輪
- 長江
- 田枯
- 永江澤
- 向林
- 小代
- 大代

第二十四區

計五ヶ郷

- 神田
- 平山
- 小林
- 月村

足 込分郷

第二十五區 計五ヶ村

○上津具山方 上津具所方 ○坂場

○川宇連 ○大沢

第二十六區 計十九ヶ村

○松戸 ○大名倉 ○川向 ○宇連

○大桑 ○久原 ○大平 ○大久保

○猪ノ澤 ○社脇 ○万場 ○市ノ瀬

○神子谷下 ○寺脇 ○松本 ○湯谷

○貝津田 ○川口 ○清水

第二十七區 計九ヶ村

○中當 ○稻橋 ○野入 ○大野瀬

○押山 ○川手 ○武節町 ○桑原

○黒田 ○余加茂郡内平 ○開羅瀬 ○小瀧野

伊那縣管轄 第七十三區 計十八ヶ村

○西菌目 ○東菌目 ○小谷下 ○御菌

○古戸 ○間袋 ○大立 ○檜谷下

○粟世 ○河内 ○市原 ○大谷

○佐太 ○老平 ○兔鹿島 ○溝淵

○中久名 ○小造

第七十四區 計十四ヶ村

- 川合 ○宇連 ○池場 ○畑村
- 奈根 ○寄近 ○別所 ○中設樂
- 足 込分郷 ○三ツ瀬 ○下田 ○川角
- 上粟代 ○下粟代

御所貝津小田木ノニ村別ニ加茂郡ノ區ニ入り
笠井島ハ別ニ南設樂郡内ノ區ニ入ル

以上是ヲ區別ノ原由トナス然レトモ其村落多
少境界均シカラス越石或ハ分郷ニ散布シ各管
轄ヨリ別ケタルニテ區畫ノ本制ニ非ス亦草創

ニ屬スルノミ

明治五年正月本國ニ額田縣ヲ置キシヨリ頗ル
區畫ノ體裁ヲ立ルヲ得ル同年二月本郡ノ戸籍
擔當吏負大區長青木三靜副大區長竹内玄洞戸
長丸山久太郎古谷藤吉古橋源六郎等ヲシテ區
別ノ村割ニ參議セシメ本郡全設樂二百三十三
村ヲ總ヘ縣下ノ第八大區トナス其内三小區ニ
別ツ是ヲ本郡區画第一次ノ定正トス追次変更
沿革ヲナス表左ニ舉ク

第一次區畫表

額田縣

第八大區設樂全郡 計九十三村 一小區

- 山村 ○今出平 ○新城 ○間ノ町
- 西杉山 ○白子 ○諏訪 ○新町
- 東杉山 ○中村 ○定池 ○野田
- 中市場 ○宗高 ○惠美酒方 ○石田
- 片山 ○大峠 ○根古屋 ○大野田
- 下平井 ○上平井 ○川田 ○德定
- 稻木 ○寺林 ○下平 ○吉村
- 大草 ○設樂 ○横山 ○西矢部

愛知縣北設樂郡額田縣

- 下々 ○宮脇 ○淺畑 ○長篠
- 岡 ○岩廣 ○滝川 ○東矢部
- 清井田 ○柳田 ○新聞 ○夏目
- 川上 ○常延 ○牛倉 ○須長
- 名高田 ○草部 ○門前 ○重廣
- 大坪 ○真國 ○黒口 ○森長
- 竹廣 ○川路 ○出沢 ○谷下
- 淺木 ○有海 ○橋平 ○榎原新田
- 門谷 ○峯 ○古宿 ○大林
- 西海老 ○方瀬 ○湯嵩 ○葛

愛知縣北設樂郡額田縣

○塩ノ谷 ○長樂推平新田 ○双瀬 ○大代

○東海老 ○真菰 ○山中 ○朽下

○塩平 ○大石 ○只持 ○須山

○小野 ○大海 ○引地 ○湯谷

○黒谷 ○田代 ○身平橋 ○振草梯平

計六十六ヶ村 二小区

○鴨ヶ谷 ○和田 ○戸津呂 ○手洗

○見代 ○西田原 ○東田原 ○野郷

○相月 ○川尻 ○小林 ○赤羽根

○市場 ○寺林 ○長者平 ○草谷

○川手 ○弓木 ○須山 ○北畑

○岩波 ○杉平 ○布里 ○塩瀬

○栗島 ○折立 ○道具津 ○黒瀬

○田代 ○荒原 ○大宮 ○大和田

○筒井 ○御領 ○小田 ○笠井島

○上西田内 ○島田 ○大輪 ○東田内

○塩津 ○木和田 ○菅沼 ○桑平新田

○下西田内 ○息原 ○源氏 ○小代

○萩平 ○善夫 ○田枯 ○向林

○中島 ○田口町 ○小柘野 ○怒田輪

○荒尾 ○永江沢 ○西路 ○東路
○柳平 ○長江 ○和市 ○田峯
○下一色 ○上一色

計七十四ヶ村 三小區

○寄近 ○三ツ瀬 ○中設樂 ○奈根
○宇連 ○畑 ○別所 ○西園目
○月 ○川合 ○池場 ○川角
○下田 ○御園 ○古戸 ○下栗代
○神田 ○佐太 ○市原 ○栗世
○東園目 ○足込 ○上栗代 ○小林

○平山 ○大谷 ○河内 ○大立
○檜谷下 ○間袋 ○小造 ○免鹿島
○中久名 ○川宇連 ○上津具山方
○小谷下 ○溝淵 ○老平 ○大沢
○坂場 ○上津具町方 ○下津具南方
○清水 ○川口 ○大平 ○宇連
○大久保 ○猪ノ沢 ○下津具北方
○貝津田 ○湯谷 ○久原 ○大桑
○社脇 ○万場 ○市ノ瀬 ○寺照
○大ノ瀬 ○小田木 ○御所貝津 ○武節町

夏焼 ○神子谷下 ○松本 ○押山

○黒田 ○桑原 ○稻槁 ○野入

○中當 ○川向 ○松戸 ○川手

○大名倉

以上表總計村数二百三十三ヶ村郡長区長戸長各擔當ヲ分子地方ノ諸務改正ニ着手ス区長吏負ノ章ニ詳ナリ明治五年十一月額田縣ヲ愛知縣ニ合セ明治六年一月大区ノ区画ヲ改メ尾三兩國十六郡分チテ十五大区百五十二小区トス其内本國設楽郡シ以テ第十三大区トナス而シテ

其小区画八旧ニ依ル而ルニ本郡内

○稻橋 ○野入 ○夏焼 ○中當

○大ノ瀬 ○川手 ○御所貝津 ○黒田

○押山 ○桑原 ○武節町 ○小田木

計十二ヶ村明治六年三月各村情願ニヨリ加茂郡へ隸シ第八大区三小区ノ区画ニ入レ吏務擔當ヲ分ツ区村吏負ノ章ニ詳ナリ而シテ是区画ヲ以テ区吏負地方ノ諸務ヲ理ス然ルニ部落廣濶ニシテ事務頗ル遷延ス是ニ於テ明治七年八月区長丸山久太郎副区長加藤守之助等ニ參議

セシメ六小區画ニ改正本郡第二次ノ區画定正
トス追次変更沿革ヲナス表左ニ擧ク

第二次區画表

第十三大區

計四十九ヶ村 一小區

- 山村 ○今出平 ○新城 ○間之町
- 臼子 ○諏訪 ○新町 ○鴨ヶ谷
- 手洗所 ○西杉山 ○見代 ○西田原
- 中村 ○根古屋 ○野郷 ○東杉山
- 和田 ○戸津呂 ○東田原 ○定池

- 寺村 ○相月 ○大野田 ○長者平
- 草谷 ○宗高 ○川手 ○弓水
- 野田 ○中市場 ○川尻 ○下平井
- 小林 ○赤羽根 ○上平井 ○惠美酒方
- 須山 ○川田 ○徳定 ○杉平
- 岩波 ○稻木 ○市場 ○北畑
- 石田 ○片山 ○黒田 ○田代
- 川合

計五十六ヶ村 二小區

- 大峠 ○下平 ○吉村 ○岡村

寺林 ○ 浅畑 ○ 大草 ○ 設樂
 岩廣 ○ 滝川 ○ 東矢部 ○ 清井田
 柳田 ○ 草部 ○ 夏目 ○ 横山
 西矢部 ○ 下々 ○ 宮脇 ○ 新間
 川上 ○ 門前 ○ 重廣 ○ 常延
 真国 ○ 黒口 ○ 名高田 ○ 荒原
 川路 ○ 大宮 ○ 大坪 ○ 牛倉
 須永 ○ 森長 ○ 竹廣 ○ 谷下
 出澤 ○ 大海 ○ 長篠 ○ 槁平
 榎原新田 ○ 田代 ○ 門谷 ○ 浅木

有海 ○ 引地 ○ 湯谷 ○ 黒谷
 峰 ○ 布里 ○ 下一色 ○ 大和田
 塩ヶ瀬 ○ 上一色 ○ 大宮 ○ 柿平

計四十二ヶ村 三小区

栗島 ○ 筒井 ○ 折立 ○ 身平橋
 古宿 ○ 大代 ○ 東海老 ○ 真菰
 湯島 ○ 道貝津 ○ 笠井島 ○ 大林
 西海老 ○ 方瀬 ○ 山中 ○ 御願
 小田 ○ 桑平新田 ○ 上西田内 ○ 葛
 塩ノ谷 ○ 塩平 ○ 双瀬 ○ 思原

○源氏 ○下西田内村 ○初木 ○長樂新田

○大石 ○島田 ○大輪 ○東田内

○小代 ○木和田 ○菅沼 ○湏山

○田嶺 ○塩津 ○善夫 ○只持

○小野

計二十一ヶ村 四小区

○寄近 ○中設樂 ○奈根 ○畑

○川合 ○川角 ○别所 ○月

○池場 ○下田 ○宇連 ○東園目

○御園 ○神田 ○下栗代 ○小林

○三ツ瀬 ○足込 ○平山 ○上栗代

○西園目

計二十一ヶ村 五小区

○小造 ○溝淵 ○兔鹿島 ○河内

○佐太 ○栗世 ○中久名 ○老平

○大沢 ○大谷 ○市原 ○榎谷下

○古戸 ○川宇連 ○大立 ○上津具

○坂場 ○小谷下 ○間袋 ○下津具

計三十三ヶ村 六小区

○清水 ○具津田 ○大平 ○宇連

- 大久保 ○猪ノ沢 ○川口 ○湯谷
- 久原 ○大桑 ○社脇 ○万場
- 市ノ瀬 ○寺服 ○田枯 ○永江沢
- 東路 ○田口町 ○神子谷下 ○松本
- 向林 ○中島 ○西路 ○小松野
- 枋平 ○大名倉 ○川向 ○荒尾
- 萩平 ○怒田輪 ○松戸 ○長江
- 和市

以上總計二百二十一村区画改正セリ稻橋野入等十二ヶ村加茂郡第八大区区内ニ隸スルコト旧

ニヨル各自吏務擔当沿革ヲナス

明治九年八月廿一日全縣下十五大区并ニ各小区ヲ廢シ更ニ十八大区ヲ置ク其内本郡設樂二百三十三村ヲ二区ニ別テ一百三十四村ヲ第十五区トナシ残り八十七ヶ村是ヘ加茂ニ隸スル稻橋野入等十二ヶ村ヲ入レ旧ニ復シ合セテ九十九ヶ村ヲ第十四区トナス其村々名稱分區境界郡域轉換管轄沿革ノ二章ニ詳ニス而メ第十五区ハ新城村ニ區會所ヲ置キ第十四区ハ西路村ニ區會所ヲ置クト定メシカ假リニ萩平村ニ

置キ區務擔當ヲ分ツ

明治十一年十二月廿日十四區名稱ヲ改メ北設
樂郡トナシ區會所名稱ヲ改メ郡役所ト稱ス乃
チ今日ノ北設樂郡役所ナリ

區務職稱第九

村吏名稱封建中ハ既ニ村役名稱ニ奉ク明治四
年七月全國郡縣制ニ歸スト至モ舊領限リヲ以
テ旧大参事ノ所決ヲ取ル大参事民政ニ着手ノ
力ヲ無シ本郡ハ七月ヨリ十月迄ニ舊領主ノ諸
帳簿順次調整シ重原舉母伊那ノ三縣額田縣廳
へ贈達ス

明治五年壬申正月二日全縣一致ノ改正ニ及ビ
新ニ區務職ヲ置キ區村ノ人民ニ任ス郡長ト云
ハ副郡長ト云村庄屋ヲ改メ村長ト云フ地方諸

務ヲ理ス大区長ト云副区长ト云ヒ戸長ト云ヒ
副戸長ト云フ戸籍調ヲ専務ス釀金懸ト云フ民
費計ヲ専務ス朝ニ置キ夕ニ廢ス変更不定維新
草創ニテ区村吏ノ職名體ヲ成スニ足ラス抑モ
縣令民情適當ノ改正法ヲ得ント欲シテ区務職
名廢置ニ意ヲ苦ムコト殆ント神代天ノ瓊茅ヲ
以テ蒼溟ヲ探ラセ給フ景況モカクヤト想像セ
ラレタリ

同年五月全縣下ヲ九大区ニ分ツ一大区ニ大区
長ヲ置キ地方務戸籍一切ヲ總理ス大区長ノ下
ニ副区长ヲ置キ大区長總理ノ事務ヲ助ク大区
内凡ソ一萬石ヲ以テ小区トナス小区ニ副戸長
一名ヲ置キ戸籍調ヲ總理ス小区内ヲ村々トス
村長ヲ改メ総代ト稱ス

同年十一月副戸長ヲ改メ副長ト稱シ一名ヲ増
ス總代ヲ改メ村戸長ト稱ス組頭名稱旧ニ依ル
副長ヨリ以上大区長ニ至ル迄給料諸費總テ民
費ニ賦課ス民費沿革ニ詳ナリ村戸長以下給料
有無旧ニ依リ縣官未タ是ヲ指揮セズ是月廿七
日本縣愛知縣へ合屏ス

明治六年一月副長ヲ戸長ト改メ一人ヲ減ス副
 区長ヲ權區長ト改メ其級等外二等ニ準ス大区
 長等外一等ニ準ス而メ大区ニ一ヶ所ノ會所ヲ
 置ク區會所ト稱ス名古屋ニ全縣下ノ會所ヲ置
 ク各區權區長二名輪番シ区内ノ議事或ハ布達
 贈送臨時ノ區用ヲ辦ス是ヲ各區會所ト稱ス其
 費用是ヲ大区費ニ賦課ス以上區村吏名稱是ヲ
 一般町村總事務ノ吏負トナシ追次沿革ヲナシ
 同年四月村戸長ヲ改メ副戸長介ト稱ス
 同年十月戸長ノ一ニ副戸長一名ヲ置キ戸長ノ

事務ヲ助ク

明治七年二月戸長ヲ小区長ト改稱ス
 同年五月各大區長四名輪番各區會所へ詰メ各
 區會所へ書記四名ヲ置ク而メ區戸長ノ等級ヲ
 立テ各負職務ノ繁劇ニ應ス等級表左

區戸長準等級表 權區長再副區長ト稱

役名	區長	全上	全上	副區長	戸長	全上	全上	副戸長	全上	全上
準等	十二等	十三等	十四等	十五等	外一等	全二等	全三等	全四等	全五等	全六等

凡吏負配區ハ高ト戸數ヲ計リ其人負數ヲ置ク
 是ニ於テ村々封建中一村一庄屋ノ擔當習慣意

想少シク変ス戸數高計筭明細左ニ概畧ノ見込ヲ立ツ

一 每大区長 一名 副長 二名

但シ副長一名ニテ用便スルハ此ノ限リニ非ス

一 每小区戸長 二名

但シ一名ニテ用便スルハ此限リニ非ス

一 每町村副戸長凡左ノ割合ヲ以テ之ヲ置ク

但シ凡

舊高 三百石 以下 等外六等 一名

戸數 五十戸 以下 等外六等 一名

全 千石 全 全 五等 一名

全 千五百石 全 全 五等 二名

全 三百戸 全 全 五等 二名

全 二千石 全 全 六等 一名

全 四百戸 全 全 六等 一名

全 三千石 全 全 五等 三名

全 五百戸 全 全 五等 三名

全 五千石 全 全 四等 一名

全 千戸 全 全 四等 一名

全 一万石 全 全 四等 二名

全 二千戸 全 全 五等 七名

同年六月副戸長介ヲ廢シ伍々長伍長ノ二職ヲ置ク但シ是ニ職布達ニヨリ村協議ニテ立ク区會所ヨリ是ヲ命シ縣官ノ辞令ナシ然リト虽モ是ニ職小村ニ在リテハ旧庄屋帳簿ヲ受ケ傳フ

者トス

明治八年三月等外五等六等ヲ廢シ現在ノ戸長
準二等ハ準一等ニ上ケ準三等ハ準二等ニ上ケ
準四等ハ準三等ニ上ケ準五六等ハ準四等ニ上
ク表左ニ

準等	等外準一等	全上準二等	全上準三等	全上準四等
役名	戸長	全上	副戸長	全上

明治八年六月区村吏負撰方ヲ定ム大区長副区
長正戸長之ヲ官選トス副戸長ハ民撰投票ニテ

定ム然ルニ投票ノ權ナキ者ハ滿十五歳以下ノ
年齢戸主者戸主ニアラサル者婦人不動産ヲ所
有セサル者犯罪懲役一年以上ノ刑ヲ受ケ放免
三ヶ年ニ至ラサルモノトス而メ副戸長ノ事務
槩子従前庄屋ノ任ニ比較ス於是ニ其在職年限
ヲ制シ二年ヨリ短ラス四年ヨリ長カラスト定
ム

明治九年八月廿一日從來ノ大小区ヲ廢シ新ニ
全縣中ヲ十八区ニ別ツ村々出入アリト虽モ大
略従前ノ大区ニ目ル特ニ加茂郡八大区ヲ二区

ニ別チ十二区十三区トナシ設樂郡内稻橋野入
 等ノ十二ヶ村ヲ除ク十三大区内ヲ二区ニ別チ
 十四区十五区トナシ稻橋野入等十二ヶ村ヲ以
 テ十四区内ニ入ル十四区ノ會所ヲ西路村ト定
 ム区画分合民費沿革ニ詳ナリ是改正ニ當リテ
 大ニ区吏ノ人負ヲ損益シ正副戸長會所詰トナ
 ル其吏務等級左

		一等	二等	三等				
役名	區長	副區長	戸長	副戸長	全上	全上	全上	
準等	十二等	十三等	外等	一等	全二等	全三等	全四等	
								一等係
								二等全上
								三等全上
								組長

以上各職等級職務章程ヲ分チ戸數反別ノ多寡
 ニ從ヒ吏負ノ數ヲ異ニス臨時雇生アリ小使ア
 リ適宜於是乎封建中一村一庄屋ノ擔當習慣大
 ニ變ス其詳ナルハ愛知縣布達類集郡務ノ部ニ
 見^ニタリ是ニ其概略ヲ舉ク其職權限ハ正副戸
 長以上ハ縣官之ヲ命ス用係以下ハ區長撰任免
 黜ノ專行ヲ得ル而メ區長ノ事務処分ノ章程ヲ
 ニ款トナシ區長專斷ヲ得ル者アリ縣官ノ裁決
 ヲ乞フ者アリ是ニ於テ區長ノ權限從前ニ比ス
 レハ頗ル重キニ至ル亦勢ナリ然レモ猶給ヲ民

費ニ取ル未タ摸稜ノ手ヲ全ク廢スルヲ得ス理
ノ然ル所以ナリ

明治九年九月正副区戸長ノ役提灯ノ印ヲ定ム
同年十月用係印鑑簿ヲ製シ各自ヨリ印鑑差出
ス

明治十年二月浦役ヲ置ク用係是ヲ兼ヌ是カ為
ニ沿海ハ用係數ヲ増ス亦太政官ノ布告ニヨル
ナリ

同年五月組長ヲ廢シ三等用係ノ數ヲ増ス
同年六月用係三等ノ下ニ四等用係ヲ置ク

明治十一年二月農事通信ヲ置ク

同年一月十一日内務省布達ニ郡書記職制中郡
書記ノ等級ハ一般官等ニ相当スル者ニ付其辭
令書ニハ何等相当ノ旨ヲ附メ申付ク其郡区長
及書記旅費知事令ノ適宜地方税ヨリ支辨ス同
年七月廿五日太政官公布ニ郡長八等相当一人
俸給ハ地方税ヨリ支出ス一月八十圓以下各地
方ノ便宜ニ從ヒ知事之ヲ定ム地方税ノ名稱初
メハ同年七月廿二日太政官十九号ニ見ヘタリ
郡長ハ其府縣本籍人ヲ以テ之ニ任ス郡長ノ下

二書記ヲ置ク十等ヨリ十七等ニ至ル定負ナシ
其月給ハ地方税ヨリ支出ス一ヶ月二十回以下
知吏令ノ適宜其選任進退郡長ノ具状ニ依リ府
縣ヨリ命ス同年十月廿五日同ク公布郡書記十
等ヨリ十七等ニ至ル定負ナシ月給ハ地方税ヨ
リ支出ス其額知吏令ノ適宜トス同年十一月内
務省布達ニ郡区長及書記職務上ノ過失ハ官吏
懲戒例ニ因リ処分ス郡区役所ニ於テ採用スル
諸負ハ用係筆生等準等無キトス戸長ノ等給ハ
従前ニ仍ル同年十二月四日同省公達ニ郡区吏

負任免ノ際赴任或ハ飯郷又ハ其申付ノ節居住
ノ地ヨリ本廳迄出頭スル旅費ハ地方税則第三
條第七項ニ照準シ其給額ハ知事令ノ適宜ニ制
ス郡区長書記ハ一般官吏ト同ク商買ノ營業ヲ
得ツ戸長ノ職務上過失ハ官吏懲戒例ニ依ル同
年十二月廿三日同省公達ニ郡区役所ニ為替方
ヲ置クモ其給料ハ郡区役所諸費ノ内ヨリ支出
ス戸長以下ノ給料地方税ヨリ出シ知事令ノ權
適ニ定ムト虽モ戸長職務取扱諸費ハ府縣會議
ニ付ス以上件々ノ布達ニ依リ本縣

明治十一年十二月二十日各區ヲ廢シ會所名稱
區配ヲ改メ全縣下ニ十七箇ノ役所ヲ置ク内名
古屋區ヲ區役所ト稱シ外十六役所ヲ郡役所ト
稱シ廿七日ヲ以テ開廳ノ期トス是ヲ結尾ノ改
正トナス當日各郡ヲ画配シ郡長ヲ命ス本郡北
設樂ノ郡長ヲ古橋源六郎トナス郡區画配左ニ

愛知縣 丹羽郡 葉栗郡

全 額田郡

全 名古屋區

左 幡豆郡

全	知多郡
左	愛知郡
左	碧海郡
左	西加茂郡
左	中島郡
左	渥美郡
左	春日井郡
左	南設樂郡
左	<small>海東郡 海西郡</small>
左	北設樂郡

全 宝飯郡

左 東加茂郡

左 八名郡

以下郡長ノ下ニ書記雇生小使ヲ置ク一ニ布達
 ニ從フ雇生ヨリ以下郡長ノ撰任免黜ヲ得ル共
 ニ郡區役所へ出勤シ其方總テ縣官章程ニ倣へ
 職務ヲ五課ニ別ツ郡長ノ事務章程ヲ區別シ專
 斷ヲ得ル者縣官ノ裁決ヲ乞フ者ノニ款ヲ立ツ
 其條目其專斷ヲ得ル者區長ノ權ニ比スレハ一
 層獨權ヲ有ス同月同日改メ戸長ヲ全縣各村ニ

置キ郡役所ノ職務ヲ分ツ是ヲ戸長役場ト称シ
 郡役所ニ出勤セス戸長撰方民撰ヲ以テ郡長是
 ヲ總理上申縣官辞令ヲ付ス任期ヲ三年トス其
 給ハ定額ヲ立テ地方稅ヨリ出ス郡吏ニ同シ額
 外給與ハ各町村協議費ニ任ス其職務總理ノ權
 限ニ款ニ分ツ郡長ニ準シ倣フ戸長ノ下ニ筆生
 及常使ヲ置ク其給法亦戸長ニ準シ倣フ同年同
 日郡區吏負定則略概左ニ出ス

○郡區吏負月俸割賦規則

耕宅

○反別一萬町 人負二十五人ノ目安

○戸數二萬戸 但一人金十二圓ノ割

此金三百圓

一 郡吏負ヲ定ムル反別一萬百町以上二千町
毎ニ一負ヲ増ス一萬町未滿四千町毎ニ一
負ヲ減ス

一 戸數二万百戸以上五千戸毎ニ一負ヲ増ス
二万戸未滿一万户毎ニ一負ヲ減ス

一 区吏負ハ前目安ニ関セス單ニ戸數一千戸
毎ニ一人ノ割ヲ以テ其數ヲ定ムヘシ

一 右人負ハ月俸金額ヲ定ムルノ目安ニ付本
額ノ内ヲ以テ等級ニ依リ人負ヲ増減シ或
ハ雇生等申付ルハ郡区长ノ見込ニ依ルヘ
シ

但郡区长月俸及ヒ吏務多端等ニテ勉勵
ノ者手当モ本額金ノ内ヲ以テ支給スヘ
シ

一 小使ハ日給金十錢ヨリ多カラサルノ目途
ヲ以テ人負適宜使用スヘシ

一 戸長月俸定額ハ左ノ割合ヲ以テ算出スル

モノトス

戸数二百戸以上ノ町村

年俸金七十五両ノ割

全百戸以上二百戸未満ノ町村

左 金四十八両ノ割

全五十戸以上百戸未満ノ町村

左 金三十六両ノ割

左五十戸未満ノ町村

左 金十八両ノ割

一 戸長ニ屬スル筆生月俸定額ハ左ノ割合ヲ以テ算出

スルモノトス

戸數千戸以上ノ町村

筆生 四人

全五百戸以上千戸未満ノ町村

全 三人

全二百戸以上五百戸未満ノ町村

全 二人

全五十戸以上二百戸未満ノ町村

全 一人

全五十戸未満ノ町村

全 無シ

但シ一人年俸金二十四両割

分給ノ

田續

一 戸長手元常使月俸定額ハ左ノ割合ヲ以テ
算出スルモノトス

戸數千戸以上ノ町村 年俸金廿四ノ割

全五百戸以上千戸未滿ノ町村 全 金十八ノ割

全二百戸以上五百戸未滿ノ町村 全 金十二ノ割

全五十戸以上二百未滿ノ町村 全 金九ノ割

全五十戸未滿ノ町村 全 金六ノ割

郡區經費概目略

一 一般ノ經費ヲ大別シ毎歲費額ヲ定メ毎三ヶ
月各役所ニ交付スルモノヲ定額費ト名ク郡區
長月給書記等級ニテ定リ有リ

○書記月給 ○諸雇給與 ○諸賄料

○郡區吏内外旅費 ○廳中需用費

○運搬費 ○郵便電信建家借上家賃等雜費

○郡廳官繕費 ○戸長月俸并ニ旅費同職務費

○需用費 ○諸雇給 ○運送費

○郵便電信

以上ノ諸目之定額常費ヨリ出ル者トス

一 每歳費額ヲ豫算シ每件其事由ヲ詳悉シテ縣

廳ニ請求スル平常ノ費用額外常費ト名ク

○難破船諸費 ○流行病豫防費

以上ノ諸目額外常費ヨリ出ツル者トス

但シ實際談費ヲ要スルキハ一時豫備金ヲ

以テ仕拂置キ月纏メニシテ之ヲ縣廳ニ申

請ス毎年一月一周歳會計年度ヲ豫算シ之

ヲ縣廳ニ出ヌ年尾ニ至リ剩餘ノ金ハ縣廳

へ還納ス民費沿革ニ詳ナリ而メ定額剩餘

ノ金ハ各役所ニ備置トス

以上月給交付法任免歸省病氣忌引等ノ渡方多

件枚挙ニ暇アラス明治十二年一月本縣布達ニ

詳カナリ筆墨料旅費日當概略左ニ

筆墨料	郡區長書記	雇生	戸長
	金拾錢	全上	金六錢
職名	旅費等級	管並旅行	全滞在
	一等	三回	七拾錢
郡區長書記	管並旅行	昼急行	赴旅行
	一等	三回	八回
管並旅行	全滞在	管並旅行	全滞在
	一等	一回	二回
管並旅行	全滞在	管並旅行	全滞在
	一等	一回	二回

戸長 郡区役所在生	二 等	一四五	三十五錢	一四九	一四九	八十錢	三十錢
戸長 附屬	三 等	一四二	三十錢	一四五		五十錢	廿五錢
華生							

以上其詳カナルハ本縣布達ニ見エタリ本郡並
 設樂郡ハ田口村ニ郡役所ノ位置ヲ定メ今仮リ
 ニ清寄村ニ置ク画配ノ村數ハ從前ノ十四区ニ
 依ル郡域轉換管轄沿革村落廢合ノ章ヲ見合ス
 ハシ而メ各村ニ戸長ヲ画配シ等級ヲ立テ役場
 ヲ置キ其給ヲ年給トス

○各村戸長等給戸數反別表

一 等 戸 長 二 等 戸 長 三 等 戸 長 四 等 戸 長

五十四町 三十六町 十八町 八町

○一 等 戸 長

○反別 ○戸數 ○村名

二百六町七四二	二百九十八戸	○納庫
百四九町二三〇八	二百〇一戸	○下津具

○二 等 戸 長

四三町八一二四	九十戸	○田口
五十七町四六二六	九十四戸	○田峯
三十四町五三三九	五十戸	○三都橋
六十六町七二二	百十三戸	○清崎

二十九町一七二六	五十戸	○稻橋
三十七町三七二四	五十四戸	○野入
六十町二三二八	九十戸	○大野瀨
三十八町三七一九	六十三戸	○御所貝津
三十八町四三二八	六十八戸	○黒田
四十八町〇五一	七十八戸	○小田木
十六町九〇二九	五十四戸	○武節
四十四町六七〇三	六十四戸	○小松 長江
百十九町二二三	百五十六戸	○上津具
三十一町九六二三	六十二戸	○坂字場

三十九町五〇〇九	七十九戸	○三沢
四十七町六五二九	八十八戸	○古真立
五十七町七七二五	百七戸	○下黒川
四十九町一五二七	六十九戸	○上黒川
五十三町五〇二六	九十七戸	○古戸
三十七町三八〇七	七十三戸	○足込
三十三町四〇一七	五十三戸	○御園
三十二町〇四五	五十五戸	○東園目
三十二町九四一	六十一戸	○西園目
七十二町七九〇五	百十九戸	○下田

二百五十五町五三五	百七戸	○	中設樂
三十三町八一二七	五十二戸	○	荒尾市
四十二町六六〇七	六十三戸	○	上栗代 下栗代
三十二町二六二	七十二戸	○	神田
五十七町〇三二七	百十戸	○	月
七十六町九〇〇二	百五十一戸	○	本郷
七十二町二五〇三	百三十二戸	○	奈根
三十四町三七〇七	八十四戸	○	長岡
三十八町一一一三	百九戸	○	川合
四十町二六〇一	百戸	○	富山

三等戸長

二十八町一二二九	四十四戸	○	田内
二十九町二一二二	四十八戸	○	豊邦
二十六町三四〇八	二十八戸	○	中當
二十四町五九〇九	三十三戸	○	夏焼
三十三町五〇二六	四十九戸	○	押山
二十七町五三二四	四十五戸	○	川手
二十四町一二〇九	四十六戸	○	八橋
二十七町六七二九	三十八戸	○	柰原
二十一町六九二四	四十一戸	○	小林

十七町四五一八	廿六戸	○川角
十三町二九〇六	廿六戸	○平山

○四等戸長

八町〇〇一	十九戸	○大名倉
八町四六二四	十四戸	○松戸
二十九町一〇一九	三十八戸	○川向

反別二千三百四十五町二一一九

合計戸數三千九百十四戸

村數五十三ヶ村戸長五十名

年給金總計千五百五十四圓

以上戸長并ニ郡役所書記人負追次任免吏務人負ノ章ニ詳カナリ

明治十二年十二月戸長等級ヲ廢シ準等外トナス

戸數千戸以上ノ町村 年俸金廿四圓ノ割

同五百戸以上千戸未満ノ町村 全 金十八圓ノ割

同二百戸以上五百戸未満ノ町村 全 金十二圓ノ割

區村吏負第十

神武天皇ハ朝敵ヲ撫育シ是ヲ用テ三王ハ民ヲ代
 ヘスシテ是レヲ治ム各文明富强ノ域ヲ開ク睿聖
 ノ為ス所和漢一轍明治維新何ソ獨リ然ラサラン
 ヤ先ニ封建中壓制ト云ヒ聚斂ト云武斷ト云者今
 既ニ悉ク循吏トナル其區村吏ナル者新ニ民選官
 撰ノ二法ニ出ツルト雖概畧所謂箕裘ノ業ヲ續ク
 モノニシテ其改政ニ際スルヤ憤發碎勵村民ヲ説
 諭シ改政ノ成功ヲ奏シ人民鼓腹ノ政ヲ助ケ毫モ
 遍曲有ル事ナシ果シテ知ル風俗ノ美惡ハ在上政

ノ勤怠ニアリテ下民因襲ノ習弊ニアラサルナリ
 斯民ハ三代ノ直道ニシテ行フ所以ナリトハ是等
 ノ事ナルヘシ爰ニ北設樂郡内明治五年正月二日
 以前ノ村役人名ハ村役人負ノ章ニ舉ク同年正月
 額田縣開廳ヨリ初リ區村吏勤務ノ姓名ヲ舉ケ追
 次各區村吏年月ヲ逐ヒ沿革ヲ表ス

明治五年申二月ヨリ同四月迄郡村吏人員表一

郡長		大區吏員		小區吏員		轉免
郡長	副郡長	大區長	副大區長	戸長	副戸長	
鈴木謙次郎	太田九八郎	青木三靜	竹内玄洞	一小区 丸山久太郎	全上 原田彦九郎	
				二小区 古谷藤吉	全上 木和田利平	
				三小区 古橋源六郎	全上 白川俊一郎	
					一小区 加藤守之助	冨増負
					左 山内免三郎	全
					二小区 櫻本七平	全
					三小区 沢田淳平	全

明治五年申五月ヨリ同八月迄郡村吏人員表

額田縣北設樂郡役所

大區 大區長 副大區長 小區 小區長 吏員 吏員 副吏員 轉免

太田九八郎 竹内玄洞

九一小區山久太郎

原田彦九郎

加藤守之助

山内兔三郎

阿部玄喜

浅井惣四郎

伊藤孫四郎

野沢清四郎

今泉三郎

今泉勘藏

阿部氏以下九人
五月増員

古谷藤吉

水和田利平

小林利七

戸沢金藏

天野兵五郎

榎本七平

竹川惣吉

竹川氏以下四人
五月増員

七原庄七郎

佐木金十郎

加藤半造

古谷源六郎

白川俊一郎

豊川系上代傳下子

大區戶長		一小區	二小區	三小區	長	轉免
太田九八郎	丸山久太郎	古谷藤吉	青木三靜	青木三靜	熊谷伊八郎	山崎謙吾 五月增員
竹内玄洞	原田彦九郎	本和田和平	白川俊一郎	白川俊一郎	沢田淳平	此月白川氏地券係轉免
	加藤守之助	榎木七平	沢田淳平			

明治五年申九月三日同十月迄郡村吏人負表二

三小區 青木三靜

三上 熊谷伊八郎

八月 長古橋氏地券係轉免 副之長山崎氏依前免職 青木熊谷兩氏後役

此月白川氏地券係轉免

山内兔三郎	竹川惣吉	杉山半迪
阿部玄喜	七原庄七郎	筒井喜平
浅井惣四郎	佐木金十郎	熊谷伊八郎
伊藤孫四郎	加藤半造	
野澤清四郎		
今泉三郎		
今泉勘藏		
天野平五郎		
户沢金藏		
小林利七		

明治五年申十月より同十二月迄郡村吏人員表三

大區長	小區			大區吏員	小區	副區吏員	三小區	轉免
	一小區	二小區	副區長					
	九山久太郎	太田九八郎	古谷藤吉					
	加藤守之助	榎本七平	沢田淳平					
大區長	權區長	一小區長	副區長	二小區長	副區長	三小區長	副區長	轉免
九山久太郎	加藤守之助	榎本得郎	大原政三郎	原田彦九郎	横峯太郎	沢田淳平	白川俊一郎	
		小林和喜次			榎本七平		竹内熊雄	
				平松玄伸			山崎信一郎	四月二小區三平松氏 三小區三山崎後藤 氏副區長ヲ増員
							後藤政五郎	

明治七年甲戌二月より四月迄郡村吏人員表五

大區長	大區吏員			一小區	二小區	三小區	轉免	
	權區長	一小區長	二小區長					三小區長
	九山久太郎	加藤守之助	竹下左太郎					原田彦九郎
			梅田宗七郎	榎本七平	沢田淳平			
			小林和喜次	横山幸太郎	白川俊一郎			
					竹内熊雄	四月竹内氏辭 金田氏後役ニ出ル		
					金田治平			

十月一小區長榎本氏
左副區長大原氏辭
竹下梅田兩氏後役ニ出ル
在月三小區長沢田氏
副區長三轉山崎氏
後役ニ出ル

○明治九年八月ヨリ十一年迄郡村吏員表八

區長 白長 一等 二等 三等 四等 轉免

古橋源太郎 白川俊郎 沢田淳平 安藤伊郎 山崎信一郎

加藤与市

古橋源太郎

山崎謙吾

山崎謙吾 沢田淳平 安藤伊郎

山崎信一郎

加藤与市

明治九年八月白川氏
學區取締三轉山崎
謙吾氏副之長出
全九月區長古橋氏
學區取締兼務下
明治十年五月一等副之長
山崎氏之長昇進沢田
淳平以下各一等昇進

小田木	黒田	中當
小田木	黒田	中當
青木治郎吉	小瀬垣孫次郎	長谷川彦作
同上	同上	同上
同上	同上	同上
同上	同上	同上
同上	同上	同上
後藤頼二	安藤初五郎 安藤藤吉	園田新吉
青木治郎吉	山本治三郎 小瀬垣孫次郎	長谷川彦作 安藤初五郎
山本治三郎	福田藤次郎	園田新吉

明治十一年戊寅十二月ヨリ十二年己卯正月迄郡吏人員表

古橋源六郎	郡長	十三等	書記
		十四等	全上
		十五等	全上
		十六等	全上
		十七等	全上
松本悦之助	沢田淳平	今泉佐五郎	轉免
山崎謙吉	上杉憲時		十二年六月上杉氏 辭職
佐藤啓行	山崎信一郎		十二年十月山崎氏 辭職
塚田三碩	安藤伊一郎		十二年五月白川氏 辭職 左年十一月安井氏 辭職
白佐一郎	安井光啓		
磯村穂並	横山浦		
加藤興市			十二年九月加藤氏 辭職

加藤興市

内藤竹次郎

明治三年四月内藤氏雇生ヨリ昇進

佐藤啓行 沢田淳平

左年有佐藤山崎兩氏十四等沢田氏十五等昇進

山崎謙吉 塚田三碩 磯村穂並 今泉佐郎 荒川直次郎

十二年十月山崎氏辭職ス

中西正謙 村松壽之助

左年十月塚田氏十四等磯村氏十五等今泉氏十六等昇進

武藤春彦

左年中西武藤兩氏十六等荒川村和兩氏十七等雇生ヨリ昇進

佐藤啓行

横山浦

左年十月佐藤氏十三等横山氏十五等昇進

編表 書記 澤田淳平

村落廢合第十一

地人ヲ生シ人事ヲ生ス事ハ地ニ從テ趣ヲ異ニス
 各自力ヲノ程度ヲ以テ相保キ相養フ家政ヲ立テ
 隣並相依リ相頼ミ部落ノ習慣ヲナシ各共居ヲ安
 ス固ヨリ天性ニ出ルナリ夫レ本郡全設樂ハ封建
 中幕府領岩城奉母重魚ノ諸藩麾下十家鳳来寺等
 ノ各領ニ屬シテ村吏法ヲ異ニシ各領地習慣ニ因
 襲シテ公事訥訟葛藤ノ争端ヲ發ス是ニ於テ各村
 落弊ノ有無ヲ問ハス隣村往來相保キ相親ムノ情
 ヲ失ス他村他人ノ混スルヲ厭フ亦天性ニ出ツト

虽氏抑政躰形勢然ラシムルナリ爰ニ維新ニ至リ
 明治 天皇一視同仁遍黨アルコトナシ縣治漸
 進テ法ヲ布キ村費ノ減殺ヲ計リ各村ヲ合屏シ村
 吏員ヲ減ス爰ニ九十九ヶ村内 ○下津具南方内
 字 ○湍淵ハ下津具南方内ニ屬スト虽氏別二一
 莊屋ヲ置キ別村ノ躰ヲ成セシカ明治五年三月下
 津具南方へ合セ一ツノ村戸長ヲ減ス
 明治七年三月 ○下津具南方 ○下津具 北
 方ノ称ヲ改メ二村合セテ下津具村ト称シ一村戸
 長ヲ減ス

同年 ○粟代ハ左衛門方ノ称呼ヲ改メ上粟代村
 ト称シ ○粟代新五左衛門方ノ称呼ヲ改メ下粟
 代村ト稱ス是ニ於テ九十九ヶ村減シテ九拾八ヶ
 村トナル ○老平 ○大澤 ○兎鹿嶋各小村十
 リシカ各村各莊屋縣廳往復會議出張旅行雜費大
 村ト比ス維持ニ苦ム所以ナリ乃チ改弊ニ着目シ
 村議一決上申シ
 ○明治七年三箇村合屏シ上黒川村ト称シ一村戸長
 ヲ置ク
 ○明治八年十月 ○坂場 ○川宇連合屏各村ノ名

字ヲ用井坂字場村ト称ス是ヨリ各村相倣各合
屏ヲ十ス

○同八年十二月 ○上津具町方 ○上津具山方ノ

称呼ヲ改メ二村合セラ上津具村トシ一村戸長ヲ

減ス

○明治九年一月 ○小谷下 ○間袋 ○大立ノ三

ヶ村合屏上申小ヲ古ニ改メ間ヲ真ニ改メ三ヶ村

ノ名字ヲ用井古真立村ト称シ一村戸長ヲ置ク以

下村々合屏左ニ

○同年三月村議一決情願ハ

○河内 ○佐太 ○大谷 ○市原

計四ヶ村合セラ一村トシ富山村ト称シ一村戸長

ヲ置ク同十一年十二月願濟

○同年四月村議一決情願ハ

○清水 ○川口 ○貝津田 ○湯谷

○大平 ○松本 ○久魚 ○大桑

○宇連 ○大久保 ○神子谷下 ○寺照

○社照 ○万端 ○市ノ瀬 ○猪ノ澤

計十六箇村合セラ一村トシ納庫村ト称シ一村戸

長ヲ置ク明治十一年十二月願濟ム

明治九年 十四月村議一決情願ハ

○中 嶋 ○西 路 ○東 路 ○田 口 町

計四ヶ村合セテ一村トシ田口村ト称シ一村戸長
ヲ置ク

○明治九年五月村議一決情願ハ

○小 松 野 ○柳 平 ○怒 田 輪

計三ヶ村合セテ一村トシ小松村ト称シ一村戸長
ヲ置ク明治十一年十二月願濟

同年同月村議一決情願ハ

○栗 嶋 ○筒 井 ○折 立

計三ヶ村合セテ一村トシ三都橋村ト称シ一村戸
長ヲ置ク同十一年三月願濟

同年同月村議一決情願ハ

○川 合 ○宇 連

計二ヶ村合セテ一村トシ川合村ト称シ一村戸長
ヲ減ス由年十二月願濟

同年同月村議一決情願ハ

○池 場 ○畑

計二ヶ村合セテ一村トシ長岡村ト称シ一村戸長

ヲ減ス明治十一年十二月願濟
同年同月村議一決情願ハ

○寄 近 ○別 所 ○三ツ瀬

計三ヶ村合セラ一村トシ本郷村ト称シ一村戸長
ヲ置ク~~十二年十二月~~願濟

○明治九年十一月村議一決情願ハ

○小 造 ○溝 淵 ○中久名

計三ヶ村合セラ一村トシ下黒川村ト称シ一村戸
長ヲ置ク同十一年十二月願濟

○明治十年一月村議一決情願ハ

○粟 世 ○榎谷下

計二ヶ村合セラ一村トシ三澤村ト稱シ一村戸長
ヲ置ク同十一年十二月願濟

○同年同月村議一決情願ハ

○上西田内 ○下西田内

計二ヶ村合セラ一村トシ田内村ト称シ一村戸長
ヲ置ク~~十二年十二月~~願濟

○同年同月村議一決情願ハ

○田 枯 ○向 林 ○永江澤

計三ヶ村合セラ一村トシ八橋村ト称シ一村戸長

ヲ置ク同十一年十二月願濟

同年同月村議一決情願ハ

○萩平 ○東田内 ○小代 ○塩津

計四ヶ村合セテ一村トシ清崎村ト称シ一村戸長

ヲ置ク十年年十月願濟

○明治十年年十二月村議一決情願ハ

○笠井嶋 ○桑平新田

計二ヶ村合セテ一村トシ豊邦村ト称シ一村戸長

ヲ減ス同十二年二月願濟

以上六十五ヶ村合セテ十九ヶ村トシ二村名称ヲ

改メ舊ニ依リ以下三十二ヶ村舊ニ依ル総計五十

三ヶ村トシ現今ニ至ル其三十二ヶ村名称既ニ郡

域轉換ニ詳ナリ参見スヘシ

民費沿革第十二

人民恒ノ産ヲ治ルハ歳出歳入豫算スルニ在リ七
 草薺唐土ノ鳥ガ日本ノ土地へ渡ラヌ先ニト正月
 七日謡ヒ初メシハ稷朝封建中王政遺民ノ祝詞ナ
 リ天ノ未タ陰雨セザルニ及ヒテ彼ノ桑土ヲ取り
 テ墉戸ヲ綢繆ストハ支那周室勸政ノ誡歌ナリ奢
 智ノ君民外國ト交際シ敢テ人ノ後ヘニ居ラス獨
 立獨行各自開化ノ家國ヲ成ス謂レ有ル哉凡毎戸
 歳々外出スル物ハ正租ト云ヒ雜稅ト云フ定額
 アリ民費ト云フ定額無シ是三出毎戸自用消

費ノ外ニ必ス出サレテ得ス然シテ民費ハ一邱一
郡一縣吏員法方ノ巧拙吏務ノ多少ニ仍リテ歳
々増減有リト云凡毎戸歳初ニ豫算セズバ恒
ノ産ヲ持テ難シ注意スベシ夫レ本郡ノ如キハ
封建中民費ノ名目賦課法領主代官是ヲ関シス
トハ云凡旧例ニヨリ邱帳簿ヲ点検スルノ其当
否ヲ論シ方法指揮ノ政ナシ邱帳調ヘニ暇アラズ
大略其出錢法殘高へ乗ケ或ハ戸數ニ賦シ邱々
一定セス各庄屋操替置キ歳末ニ算用小前ヨ
リ取立シ者ナリ額田縣改政ニ至リテ初メテ民費

ノ課目ニ縣吏意ヲ注シ其名ヲ醵金ト稱シ擔当吏
員ヲ置ク然レ凡本郡ハ施行ニ及ハス日ナラシテ
是ヲ廢シ民費ヲ分テ三課トナス大区費ト云七
小区費ト云七邱費ト云フ通シテ是ヲ募金ト稱ス
大区長月給八円副区長月給五円戸長月給三円副
戸長月給二円トシ共ニ民費ニ課ス其法高反別
戸數ニ賦シ各邱適宜ニ出ス明治六年一月本縣
愛知縣へ合屏後大区長給料ハ等外一等ニ準シ
月給十円トス権区長ハ等外二等ニ準シ月給六円
トス戸長月給六円トス而シテ縣官出納課是ヲ

操替出セシガ明治六年九月操替法ヲ廢シ取
立法每区適宜ニ任ス同年一月一日ヨリ同年十
二月三十一日迄民費課出ノ金高左ニ挙ク每
邨其時ノ持高反別兩途ニ合計シ其歳ノ歳出
ヲ知ルベシ就中地券發行ニ付テハ事務ノ繁
劇用途ノ衆多ハ勿論大凡文久二年諸大名上
洛ヨリ一新沿革地方稅定額ニ至ルノ中間年
月國家多事ニ從ヒ民費ノ多キ常例ニ比スヘカ
ラス王政ノ刻薄ニアラズ改政ノ際然ラサルヲ得
サルナリ地券發行限リ各邨出費總計章末

ニ出シ一覽ニ備フ反別租稅改正ノ容易ナラサ
ル勞費ヲ知ルベシ

明治六年一月一日ヨリ同年十二月卅日迄民費課出ノ條

以下表金貨山位ヨリ下ハ數字ノニヲ用テ零位ハ〇印ヲ付
シ山位ニ滿タサル者ハ初メ十錢厘ノ字ヲ書シ以下數字ノニ
用テ每表總テ是ニ倣ヘ

設樂郡 ○大区一〇小区三〇邨二百十九

但シ村三百三十三ニ不足ハ合屏ト知ルベシ

反別二千七百七十九町四反三畝廿一步

内 田千百十八町八反八畝三步

畑千六百六十町五反九畝十八步

大繩反別四十八町三反四畝八步

田十五町三反二畝十步

内 畑三十三町一畝廿八步

元石高三萬。百七十一石五斗四升四合

民費表

縣廳并倉庫等營繕費	十一円四角三
懲役場囚獄舎營繕費	三十四円。六二九
道路堤防橋梁修繕費	三百八十四六二二
布告布達類入費	六百十八円一三六二

諸御用^{縣廳}區區長等出頭旅費

區扱所諸費

正副區戶長以下ノ給料

祭典并遙拜式費

縣社郷社郷社神官給料

檢見下組及内見其外一切費

一頁米金取集ヨリ納済^迄諸費并
二頁米九里内運賃其外諸費共

山林調費

一里程調費

一地券調費

諸御用 ^{縣廳} 區區長等出頭旅費	千八百三十九円五六一
區扱所諸費	百四十一円四七六一
正副區戶長以下ノ給料	二千七百七十七円七一九四
祭典并遙拜式費	五百五十一円七三〇六
縣社郷社郷社神官給料	百四十六円五
檢見下組及内見其外一切費	百十五円五
一頁米金取集ヨリ納済 ^迄 諸費并 二頁米九里内運賃其外諸費共	二百零五円。五六二
山林調費	百七十五円二
一里程調費	九十五円五
一地券調費	九千九百七十四円六四八六

一 戶籍調費	百。九四。五
一 徵兵下調費	二百二十。四。六
一 學校費	二千。五七。四。八。二
一 病院費	百六十三。四。二。八。三
一 道路掃除費	三十。四
一 用悪水道費	二百十五。四
一 暴漲水防費	十一。四。五
一 番人給料並諸費	百七十一。四。一。七。七
一 定使給料	八百二十。四。
一 谷邨臨時筆工料	二十八。四。六。二。五

一 各邨役場諸費

三百十九。四。九。一。三

一 兩乞并ニ虫送費

二百。八。四。〇。一。九。七

合計金二万千二百九十五。四。七。九。七。一

以上金高邨々ヨリ各邨計筈ヲ区會ニハ出シ区會所ニテ総計表ヲ立テタルナリ各邨賦課法適宜ニシテ一定セズ殘高殘反別本田畑新田畑見取りノ部分割棄ケ其邨々適宜ノ賦課法タリ

明治六年四月邨戸長ヲ改メ副戸長介ト稱シ月給ヲ定メ二円トス是ヲ邨戸長月給定メノ初トス然レ其邨々適宜ニテ施行不施行アリ只邨費書

上申ニ名目ヲ出スノミ

明治六年十月戸長ノ下ニ副戸長ヲ置ク月給四円トス

明治六年十二月ヨリ邨々諸上納金正金帛幣弊共ニ為替方三井小笠ノ兩組預リ金高千分ノ一手數料ヲ納人ヨリ為替方へ出ス

明治七年五月各大区长四名ツ、輪番各區會所へ誥メ各區會所へ書記四名ヲ置ク其月給四円ツ、トス而メ區戸長ノ等級ヲ立テ各月給日當ヲ分ツ其給摺テ民費ニ賦課ス是ヲ後ニ常備金ト稱ス

募金ノ稱ヲ廢ス準等級俸給表左ノ如シ

區戸長準等級俸給日當表

役名	準等級	俸給	日當
区长	十二等	十四円	五十銭
全	十三等	十二円	
全	十四等	十円	四十五銭
副区长	十五等	八円	
戸長	外一等	七円	四十銭
全	二等	六円	
全	三等	五円	三十五銭
副長	四等	三円	
全	五等	二円	三十銭
全	六等	一円	

明治七年七月民費出錢規則ヲ立テ行フ郡費邨費ノ二課ニ分ツ毎月末一ヶ年用途總計見込ノ金高十二分ヲ出錢セシメ縣官是ヲ用途ニ下付ス其賦課法郡中割ト稱ス等戸表ヲ製シ出錢ニ過

金ハ縣廳へ備へ置キ凶荒非常ノ用途ヲ辨スル者トス村費ハ縣官是ヲ賦課セス邨帳簿ヲ小区戸長檢印シ毎小区總計書大区長へ達シ大区長年末一回取纏メ縣廳へ達ス等戸表式左ニ

第一等	上下	百田坐	九十四	第二等	上下	八十田	七十田	第三等	上下	六十田	五十田	第四等	上下	四十田	三十田	第五等	上下	二十田	十五田
第六等	上下	十二田	九田	第七等	上下	四田	八田	第八等	上下	三田	六田	第九等	上下	二田	四田	第十等	上下	九田	七田

第十一等	上下	四十錢	三十錢	第十二等	上下	二十錢	十八錢	第十三等	上下	十二錢	八錢	第十四等	上下	六錢	四錢	第十五等	上下	三錢	六錢	二錢	四錢
------	----	-----	-----	------	----	-----	-----	------	----	-----	----	------	----	----	----	------	----	----	----	----	----

第何大区何小区何邨等戸表

第一	上下	農基	士族基	區長基	何百田	何田	第一	上下	第二	上下	第三	上下	第四	上下	第五	上下
----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

以下略ス但シ是式郡中割ニナリ邨費ハ表外タリ

是ヨリ華士族僧侶一般民費ヲ出ス而メ前表式第

六等以下ハ從來出金ノ割賦方ニ比較シ等戸出錢
ヲ定メタルナリ是ノ改正前毎邨年々調フルニ
暇マアラス従前本郡毎戸ノ民費出錢高ハ其
時各戸等戸式内ニ入ル等級ヲ以テ比較シ出費ノ
數ヲ相想スベシ是ヲ第一以民費沿革トナス
然ルニ等戸表ヲ製スル事人民議論紛紜トシテ
身代調査ニ区吏貞頗ル心ヲ勞シ強テ組入ルモ亦
必シモ其當ヲ得ズ本郡等戸式ニヨリ賦課施行
一回半季ニシテ止之後ハ高戸數人口ニ賦課ニ等
戸施行法縣官廢令テシト虫モ其式自ラ廢シ、

が當時ノ形勢ナリ

明治七年九月三井小椋兩組萬民補助トシテ等
戸表民費上納金ニ限り無手数料ニテ取扱フ規則
トナル其時ノ邨々金納ヲ計算シ手数料金高ヲ
知ルベシ

明治七年中設樂郡二百十九ヶ邨民費出錢ノ條
設樂郡

○大区 一○小区 三○邨 二百十九

但シ二百三十五ヶ邨ニ不足ハ合屏ト知ルベシ

田反別

千百十八町八八〇三

二仲

る乞虫送ノ費二百八四〇一九七

此三後年ヲ歎慨我初名久シト居ル未一應テ兩セ
虫送ノ伝神事ヲ如シテ興ビ然ニ此費取ルハ
他ノ山伏法中流初部カ徒ノコソガニテワノ
費多ク載セラレソノ徒ト同一視セラルカト歎
慨ス此ノ事也 是後未ト

烟反別

千六百六十町五五八

大繩田反別

十五町三二一

大繩畑反別

三十三町〇二二八

縣廳及出張所并倉庫等當繕費

十四町一二七

懲役場囚獄舎當繕費

二町八八

道路堤防橋梁修繕費

六百三十八町五

布告布達類入費
但之筆墨并順達夫賃等費

七百六十八町三

管内限達吏調費

二十四一四八

区扱所諸費

九百六十五町五七

正副区戸長以下給料

二千百九十五町五五二

諸御用ニ付縣廳ハ正副区戸長
等出頭旅費

千四百〇〇町八五

縣社郷社邨社當繕費

二百十九町

祭典并遥拜式費

二百五十五町五

縣社郷社邨社祠官給料

八十四町

貢米金取集ヨリ納済迄諸費并
貢米五里内運賃其外諸費共

二百四十六町八

山林調費

百六十五町八

里程調費

四百三十八町

戶籍調費

四百八十八町八

徵兵下調費

二百六十五町

學校費

三千五百二十六町八六七

教院費	八十。四。五
道路掃除費	四十五。四。二
用悪水道費	二百三十五。四。五
暴漲水防費	二十六。四。八
井堰守給料	三百六十六。四。二
消防入費	三百八十六。四。八。二
番人給料并諸費	二百二十六。四。九。二
合金一萬三千。六十四。四。一八三	

明治八年三月戸長等級ヲ改メ月給日當改定人表左ニ

准等	役名	月給	日當
等外 准一等	戸長	六。四	六。四
全准二等	全	五。四	三。五。錢
全准三等	副戸長	三。四	三。四
全准四等	全	二。四	二。四

明治八年十二月太政官布告ニヨリ区郷吏員ノ旅費ヲ改ム表左

職名	并旅行ノ里	巡回ノ里	滞在ノ日
正副区長	八十錢	五十錢	三十錢
正副戸長			

明治九年八月十七日民費ノ内布告布達郵便
税縣稅ヨリ出ス定則トナル同月廿一日本郡ヲ

十五十四ノ両区ニ分ツ九十四ヶ邸ヲ第十四区トシ小区ヲ廢ス正副戸長會ニ出勤トナル是ノ改正ニ當リテ大ニ区吏ノ人負月給日當ラ損益ス而メ其区吏ハ副戸長ノ下ニ新ニ用掛組長伍々長伍長ヲ置ク小使アリ月給三円臨時雇生アリ月給日割六円適宜トス各職等級職務章程ヲ分チ戸數及別ノ多寡ニ從ヒ吏負ノ數ヲ異ニス其給額表左ニ

役名	區長	副區長	戸長	副長	一等全	二等全	三等全	用掛	一等全	二等全	三等全
准等	士等	士三等	外等	上二等	上三等	上四等					

月給	廿四	廿四	十四	八円	七円	六円	日給月計全
並旅行	一円二五	一円	一円	七十五	四十	三円	二円
巡回	五十	四十	三十	三十	二十	二十五	
滞在	三十	二十	全上	全上	二十	二十	
免歸國	一円二五	一円	七十	七十	四十	四十	
急行	一円七五	一円四	一円二	一円二	一円	一円	
月々料	十	全上	廿	全上	六	六	

同年十月十二日組長旅費日當ラ定ム表左ニ

並旅行	三十
急行旅費	七十五

區會出頭旅費	二十五匁
滞在日当	二十匁
年筆墨料	五十匁

同年十月三十一日諸鑑札類贈送費ノ民費ヲ廢シ
各名拂トナル

同年十二月四日身代限リノ者ノ民費取立テ先
取り定則トナル第十四区同年九月ヨリ十二月ニ至
ル民費出額精算賦課法草高ハ五分戸數ハ三
分人口ハ二分其高九千七百九十四石四斗七升二
合其戸三千五百五十五戸其人口一萬九千四百六

十四人凡毎戸小割ハ高一石ニ付何錢戸一戸ニ付
何錢人口一人ニ付何錢ノ目安ヲ除算シテ出シ自
家ノ數ヘ乘シ是時ノ民費出金數ヲ知ルベシ
以下高戸數人口計ヲ出サス戸籍改正ノ章ニ付
年月ヲ合セ計算概略ヲ見ルベシ精算表左ニ

明治九年從九月至十月第十四区精算表 高石ニ付六匁一三掛リ

百円	區長一名給料	十五円三四九	悉械新調代
百四十六円	正副戸長五名給料	四円	會ニ借上費
二百円	用掛廿名給料	三十四円八四	會ニ修繕費
十八円八三三	雇生二名給料	九円一八一	脚夫賃匁

八円	小使一名給料	十九円九八	會社郵便税
十九円六五七	臨時筆工給料	九円六三九	用掛郵便税
三十円。	神官給料	廿二円七七七	区内用状継賃
二十円八五	区長旅費	五円九三	布告通運運送費
六十円九	正副区長旅費	二十四円三	布告類集代
八十四円五二五	用掛旅費	二十五円七一	活板布告代半額
四円	区長名筆墨料	六円二九四	薪炭油其他雜費
五円〇四	用掛廿名目断	二十二円六一六	各区費割合
九十銭	書記二名目断	四銭七	遍送人護送費
十二円九五四	會所用帛代	二円五四三	縣廳修繕費
七円四〇三	用掛目断	二円九八三	郵便電信稅官割

愛知縣北設樂郡後町
二〇〇九年三月三十一日
三〇〇九

十四円八二五	書籍買入代	百四十四円七三	警察費
四円八五二	新聞帛代	八十三円五六九	戶籍編製費
合計金千五百五十四円二九四		実費仕拂高	
金千二百円六八六		区内集金高	
差引金四十六円三九二		残余高	
<p>明治十年一月各職月給一ヶ月金二円ヲ増シ其 慰勞ヲ表ス常備金ハ是月ヨリ賦課スヘキノ知 四月マテ日延トナリ從來ニ依ル 明治十年二月廿九日布達ニ是迄管内電信郵便費廳中 一般合賦ノ知警言察ニ関スル管内電信郵便費ハ外</p>			

愛知縣北設樂郡後町

警察ニ関スルト區別シ月ニ賦課法トスル但三月以來
同年五月組長ヲ廢シ三等用掛ノ數ヲ増ス
明治十年一月ヨリ六月ニ至ル區費表

百五十四	區長月給	百六十四五	二等用掛給
七十二	戶長月給	百三十八	三等用掛給
五十四	二等副長月給	五十四・七八	書記給
百四十四	三等副長月給	十二	小使給
		一四四	臨時雇給
計七百八十二	計九七八	第一常備金	
九十八	區吏員旅費		

十八四・七五

用掛旅費

計百十六四七

第二常備金

十五四・五五	用紙料	十三錢	生麸粉料
二四九・九	箱代	四四七・二六	炭油代
十四九・二八	脚夫賃	二四四・七四	遍送賃
四四一・九六	木品買上料	一四一・一九	釘鉄物
廿八錢五	灰墨其外	一四・六六	職工給料
七四	會二階上料	二二三・四五一	西路局郵便稅
廿五錢三	椅子直之料	六四・六四六	邸用掛目断
九四	東京新聞	二四一・五	郵便為替倉庫料

四八三	愛岐新聞	十四七三八	用掛用紙料
六四	区吏員筆墨料	十八六五四	用掛用狀紙賃
七四二九	用掛目断	二四二	雇筆墨料
二七四二六	布達類	二四六四六	囚獄懲役場修繕
七四三三九	布達類遞送	十六錢	難破船救助
六四七九八	教育雜誌	三四〇九三	各府縣遞送
一四三七六	管内御用狀紙	六十八錢三	遺失物揭示場設
三十二錢	廳中管繕	二四四五一	職務章程代
計三百四。四四一九二			
六十五四九六五	縣廳新築	三十六四六六六	祠官掌月給

三百〇九四五二

警察費

六十五四九六八

各区費

計四百七十八四一一九

總計金千六百八十一四九八九 仕拂高

明治十年七月ヨリ同十一年六月ニ至ル一周歳民
 費豫算額ヲ立ツ十四区内九十四ヶ所定額常
 費金三千二百五十四土木費金千四警察費三
 百五十四臨時費金百四管内割金五百廿四四
 四十二錢

總計金五千二百廿四四四十二錢其課出法區
 内割ノ分各区適宜

警察費

七月五分

管内割分

七月五分
一月五分

明治十年七月四日布達廳費官社建築修繕費
官費トナルニ付左ノ目次モ七月以降ヨリ官費
トナル

従前民費賦課ノ内当七月以降官費支給ノ科
目

一管内公用状差立費

一人民喚出状或ハ督役状ノ差立費

一区戸長并町邨用掛喚出之状差立費

一各大区町邨ニ至ル迄布達スル官省ノ布達及ヒ
縣廳ノ布達印刷費右布達類各区會所及ヒ町
邨用掛迄遍送スル入費

一人民及ヒ区戸長ヨリ指出シタル願伺書等ハ
指令ノ上各区及ヒ町邨用掛へ下戻ス遍送費
同年八月九日民費改正ニ付区吏員配置ノ法
月給下付ケノ日割筆墨料旅費支給ノ方ヲ
改メ区長ヨリ副戸長ニ至ル迄金十二錢五リント
シ一等用掛ヨリ四等用掛ニ至ルマテ金六錢トス
旅行費給与三等ニ分ツ其表左ニ

旅費支給改正表

職名	旅費 等級	管外 並旅行	同滞在	昼 急行	管内 並旅行	同滞在
正副区長	一等	一四五	三十五錢	一四九	七十五錢	三十錢
正副戸長	二等	一四二五	三十錢	一四六	五十錢	二十五錢
用生係	三等	一四	二十五錢	一四二五	三十錢	二十錢

宿直ノ吏員ハ区戸長以下惣テ一直二錢五厘ヲ給
 之事務繁劇ノ際午後九時ヲ過ル時ハ弁当料是亦
 二錢五厘ヲ給ス

明治十年八月九日布達左ノ民費ヲ廢之協議費ニ
 付ス

一 縣郷社修繕費	学校費
一 同祭典費	教院費
一 同神官給料	病院費
一 稻番給料	貢金取集費
一 山林守給料	耕作船造営費
一 井堰守給料	猪鹿逐入費
一 郷藏番給料	渡船入費
一 官林守給料	貧民救助費
一 雨乞並虫送り費	土龍買上費

同年同月廿九日達之七月以降官費給与ノ内文部

省教育雜誌季事報告季校共費ニ屬ス

明治十年九月廿八日布達十月一日ヨリ左ノ支件
施行トナル

諸願同等本廳ニ進達スル書類郵便ヲ以テ進送ス
ルト虫モ各区ノ便宜ニ仍リ外用小使之内事務ノ
繁閑ニ随ヒ隔日或ハ三四日毎ニ往復為サシメ不
苦支

布告布達及ヒ公用狀其他呼出之狀指令各等郡
区會ニ向ケ發進スルモノ至急ヲ要セサル分ハ
前條小使ノ歸使ニ付之達セシムベキ支

小使ノ給料ハ日給又ハ月給各区適宜ニ相定メ而
メ是ヲ折半シ官民両費ヲ以テ支弁ノ支但シ右ニ
充ル小使一名ノ給料ハ前以届出スベシ

明治十年十月一日達シ身代限リノ節区入費先取
不足ハ身代持直シ次第償却致サスルニ不及其区
損失トス

明治十年十二月廿一日等外一等戸長ヨリ等外三
等副戸長ニ至ル迄改メテ各職月給二円ヲ増シ千
當金給与ヲ廢ス

明治十年七月ヨリ十二月迄第十四区々費精算

表

一金千百九十七円〇〇三	給與
四百十九円	区戸長月給
四百六十四円六六	用掛月給
四十二円七	雇生月給
十二円	小使給料
	五十九円九
	百〇五円四五
	八十円六三七
	戸長旅費
	用掛旅費
	区吏員旅費
一金八十六円八二三	需用費
二十二円二九二	會用紙代
八十五銭	区長筆墨料
	九円六八六
	新聞紙代
	薪炭油代
	六円〇三七

四円二	正副長筆墨料	八円三七六	備付品類代
二十二円二四	用掛目断	一円八六七	諸雜費
一円二	筆生目断	五円〇七五	郵會規則
六円	区會借上料		
一金七十三円九七六	運搬費		
四十八円〇四六	脚夫賃	二十五円七三	郵便税
二十銭	為替料		
一金五円五四三	修繕料		
三十四銭三	諸品代	五円二	職人雇料
一金三百五十七円二一	官納費		

金二百六十二円二

民費上納

金九十五円

警察費上納

一金三十四円七六六

○官納費

金十七円八七六

孝費上納

金十六円八九

教育誌代上納

合計金千七百五十五円三二一

金千四百五十三円。六三

区内集金

金四百九十二円

御下々金

差引金百八十九円七四二

残餘金

明治十年度自十年七月至十年六月一周歳警察費納拂統計表

區名

豫実徴收分

仕拂高

差引郵除余

第十四区

三百五十四円

二百七十五円七九

七十円九二一

明治十一年二月農事通信ヲ置ク

同年七月廿二日太政官十九号布告ニ地方稅名

目初ル

同年一月ヨリ十二月マテ区費仕拂表

金三千百十二円九八四

是譯

区长月給	三百円	雇生筆墨料	五円三
正副戸長給	五百六十四円四	東京日々新聞	八円八八六

用掛給	九百卅八圓五三八	愛知新聞	五圓四二八
諸備給	百九十七圓四八八	愛岐日報	四圓〇四
区長旅費	二百十三圓九	奉書	四十三錢
李区吏員旅費	六十五圓六	賄料	十八圓
用掛旅費	三百三十七圓二五	半切紙	八十四錢九
水繩	七十三錢	郵半紙	三十二圓四二八
本箱	四圓七三九	美濃紙	三圓五三五
炭	十二圓二三四	半紙	七圓七二四
蠟燭	一圓〇一三	違式註違印刷	十六圓八
時計修繕	五十五錢	椅子	六十八錢

表紙	六十二錢八	法例彙纂	七圓二七五
大直紙	四十六錢八	運搬費	七十一圓七七七
区長筆墨料	九圓	郵便費	五十二圓六五
用掛同断	四十二圓二	會館修繕	一圓九二
雜費	四圓二五七	會館借上費	十二圓
用掛支用ノ部			
用紙	九十八圓一〇九	運搬費	六十六圓八六八
郵便費	五圓三七		
明治十一年度 <small>自上年七月至上年六月</small> 警察民費豫算額表 第十四区 三百圓			

愛知縣北設樂郡設樂

愛知縣北設郡役所
明治十一年十二月二十日各区ヲ廢之各郡区役
所ヲ置ク是ヨリ郡区役ニ吏員月給雜費邨々戸
長役場月給雜用筆生小使ニ至ル迄月給雜用總計
地方稅ヨリ出ツル規則トナリ一切民費ヲ廢ス各
邨ニ別ニ協議費ヲ立ツ邨々調べニ暇アラス民費
ノ沿革筆ヲ是ニ止ム

地券改租ニ限ル民費ノ條款

凡改租民費ハ明治五年諸山林田畑地方調費ニ
始リ同十一年十二月迄順次成功毎邨着手ノ年
月ヲ追テ記ス其費ノ科目ハ耕宅地山林大量費
仕出帳申受帳調製費地引帳製費地位一筆
限り銓評費部議負集會旅費日當費地價帳
調製費圖面調製費紙筆墨薪炭雜費等ナリ
毎邨科目ヲ分チ記スニ暇アラス故ニ各邨追次總
計ヲ奉ク然ルニ其夫役筆工計筭日給金ノ如キ
ハ其邨へ他邨ノ人負雇入日給拂出ニモアリト

虫モ大抵邨内人負勉務日給計実用テレハ次之モ
本文費金悉皆消耗ニ非ス其邨々人負耕耘餘業
ノ時日名費分外ノ勞ニテ過半償フニ足レリト知ル
ベシ是本郡當時ノ當時ノ形勢ナリ其費金總計
左ニ

北設樂全郡五十三ヶ邨總計表

明治九年九月着手

合計金四百二十六円六一三

○稻橋邨

同八年一月同

同 金二百九十二円〇七一

○押山邨

明治八年四月同

合計金二百八十八円〇三

○中當邨

同八年一月同

同 金七百九十九円一五三

○大禁瀬邨

同八年一月同

同 金二百六十一円二一九

○夏燒邨

同九年 月同

同 金四百二十三円一四

○小田木邨

同八年一月同

同 金三百六十四円九九六

○黒田邨

明治九年一月着手

合計金三百六十三円二

○御心貝津邸

同八年一月同

同 金二百九十七円三六二

○桑原邸

同九年一月同

同 金百九十三円九八一

○武節邸

同八年一月同

同 金三百四十八円四三

○川手邸

同八年一月同

同 金三百円。九円四五一

○野入邸

同九年一月同

同 金二千五百二十円。一四一

○納庫邸

同九年一月同

同 金百二十九円

○川向邸

同九年一月同

同 金六十二円六八七

○松戸邸

同九年一月同

同 金七十八円二九二九

○大名倉邸

同六年二月同

同 金九百七十四円八五五一

○上津具邸

明治九年一月着手

合計金二百六十四円。二

○下津具邨

同九年一月同

同 金四百三十四円九五

○川合邨

同八年一月同

同 金三百十一円七

○長岡邨

同九年一月同

同 金四百十九円。五一

○奈根邨

同六年一月同

同 金五百四十三円六八六

○本郷邨

同九年一月同

同 金五百二十七円二二五

○古戸邨

同九年六月同

同 金三百円。四円六四

○上粟代邨

同五年六月同

同 金三百円。三円三

○下粟代邨

同六年一月同

同 金三百三十四円二七二

○小林邨

同五年一月同

同 金二百八十九円二七五

○平山邨

明治五年一月着手

合計金二百九十四円八五

○神田郷

同九年一月同

同 金二百九十七円六七

○月郷

同九年一月同

同 金百二十四円二九九

○八橋郷

同九年一月同

同 金五百四十二円。三六

○中設楽郷

同六年一月同

同 金四百十五円

○下田郷

同 年一月同

同 金二千。六十三円八二八

○川角郷

同九年一月同

同 金三百十三円。六九八

○富山郷

同九年一月同

同 金百九十一円三。三

○三沢郷

同五年一月同

同 金三百五十四円七二七

○下黒川郷

同五年八月同

同 金二百八十円。七九九

○上黒川郷

明治九年一月着手

合計金三百四十四円九三六

○東園目邨

同六年一月同

同金二百九十三円七九二

○西園目邨

同九年一月同

同金五百六十三円一三五

○田峰邨

同九年一月同

同金百八十五円七三四

○荒尾邨

同九年一月同

同金百三十七円九八九

○和市邨

同九年一月同

同金二百二十四円四六一

○長江邨

同五年一月同

同金四百九十二円二五

○田口邨

同九年一月同

同金二百八十八円五四

○小松邨

同八年一月同

同金六百十三円一九

○清崎邨

同九年一月同

同金百四十七円三五

○田内邨

明治九年一月着手

合計金三百四十二円二五三

○三ッ槁邨

同九年一月同

同 金二百四十九円。五二

○豊國邨

同五年 月同

同 金百八十二円九六三

○坂宇場邨

同五年 月同

同 金四百五十八円九八

○古真立邨

同五年 月同

同 金三百十三円三。四

○足込邨

同五年 月同

同 金五百六十四円七四二

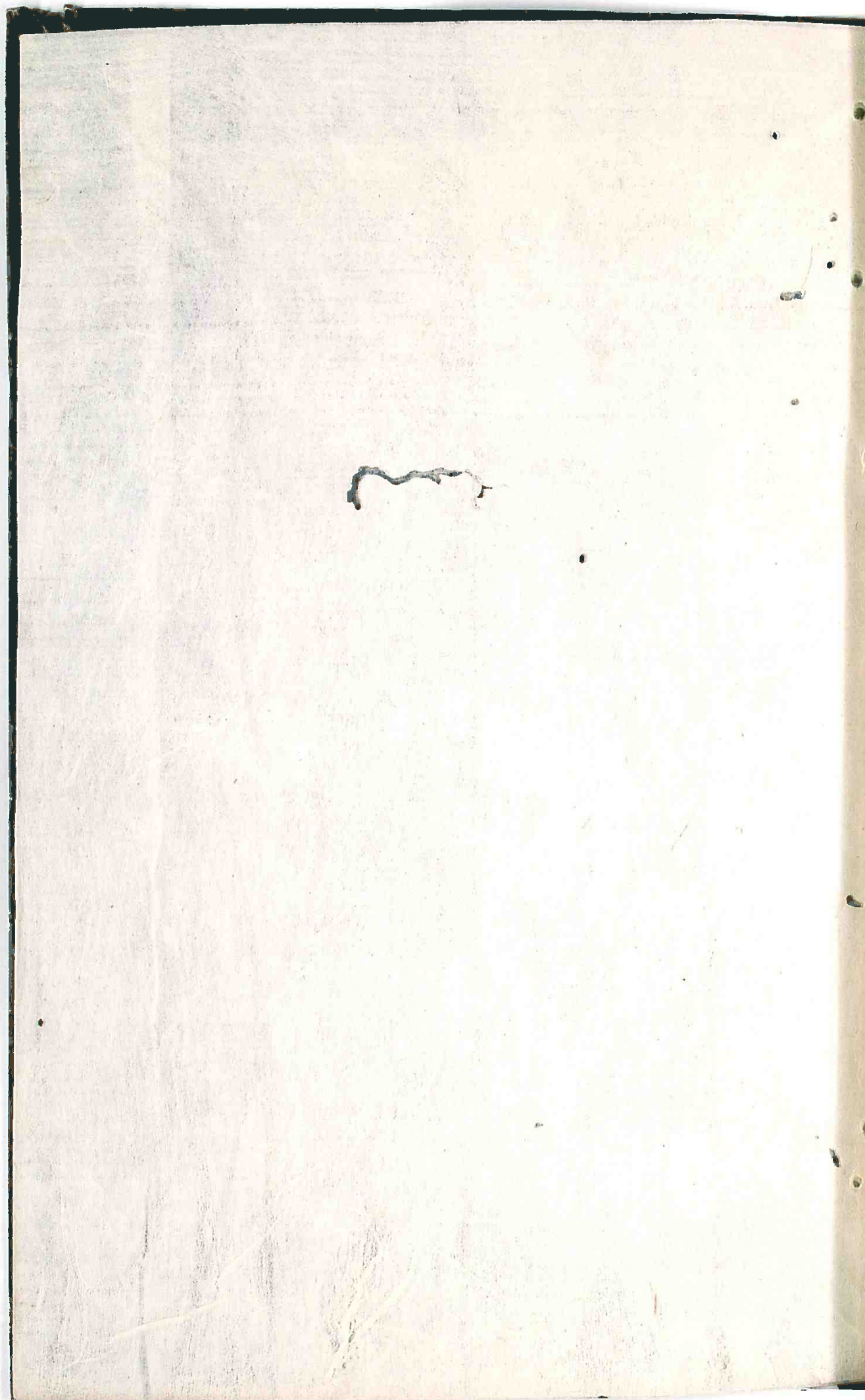
○御園邨

以上北設楽郡五十三ヶ邨

總計金二萬二千二百九十八円。二二八

知不足齋叢書

知不足齋叢書

This page features a blue-lined border and several vertical columns, characteristic of a ledger or account book. The columns are empty, suggesting the page is unused. The paper is aged and shows some minor staining. On the right edge, there is a small blue tab and some faint vertical text.

多
大
事
上
言
錄
君
名
所

